

ス開業ニ付相當補助ノ途ヲ講スト雖資格醫師ヲ得ルコト不可能ノ狀況ニシテ偶々疾病ニ罹リ或ハ瀕死ニ望メル場合ノ如キ洵ニ測隱ノ情忍ヒ難キモノアリ宜シク斯カル地方ニ對シテハ時運逆轉ノ感ナキニ非ラサルモ年限及地域ヲ指定シテ限地開業免許ノ方法ヲ開クニ如カスト信ス

一、醫師ニ對シ無診投藥ヲ認ムルノ件

藥劑師ニ對シ藥品ノ混合販賣ヲ認ムルト等シク醫師ニ對シ無診投藥ヲ認ムルノ獨リ十二指腸蟲、蛔蟲病ノ如キ所謂農業病ノ治療督勵上ノミナラス一般醫藥普及ノ見地ヨリ機宜ノ策ナリト思料セラル

一、産業組合ニ對シ食肉廉賣ノ途ヲ獎勵セシムル件

農村ニ於テハ植物食ニ偏シ稀ニ魚肉乾物ヲ攝ルニ過キササル狀態ニシテ此ノ魚肉モ交通機關ノ發達ニ伴ヒ都市ニ輸送セラルルヲ以テ價格ノ騰貴ヲ來シ農村ノ需用ニ充ツルニ至ラス又自家用屠殺ノ範圍ヲ極度ニ限定セラレタル結果農村副業ノ養豚事業ノ如キ奸商ノ爲メ其ノ利益ヲ壟斷セラレ養豚ニ對シ破格ノ廉賣ヲ餘儀ナクセラルルヲ以テ豚ノ生産ハ漸次低減ヲ來サムトスル傾向アルノミナラス其ノ屠肉ハ都市又ハ一部富有ノ嗜好トナリ農民ノ口ニハ一片ノ屠肉ヲサヘ得ルコト困難ノ狀況ナリ加之山野ニハ狩獵法ヲ制定セラレテ鳥獸ノ捕獲ハ有産階級ノ娛樂ニ供セラルル等農家食肉普及ニ關シ徹底的ニ之ヲ顧ミサル現況ニ在リテハ特ニ産業ヲ督勵シテ食肉廉賣ノ途ヲ講セシムルヲ以テ最モ捷徑ト思料セラル

一、地方病ニ對スル研究機關設置ニ關スル件

本縣ニ於ケル地方病トシテハ「フキラリヤ」性疾患蔓延シ年々壯丁検査ノ際體格ヲ低下セシムル現況ニアルモ之カ原因、豫防ニ至リテハ未タ解決ヲ見ス從來専門學者ノ實地研究ニ當リシモノ相當數ヲ算セシト雖唯タ一時的調査ニ止マリ同一地方ニ駐在シテ風土慣習ニ徹底的調査ヲ遂ゲタルモノナク爲メニ觀察ノ正鵠ヲ失シ之カ解決モ遲レタル狀態ナリ勿論地方費ニ制限アルヲ以テ如斯地方病ニ對シテハ國家トシテ特ニ相當ノ研究機關ヲ地方ニ設置シ問題ノ解決ニ努ムル必要アリト思料ス

一、衛生制度統一ニ關スル件

衛生制度統一ノ必要ナルコトハ既ニ一般識者ノ等シク高唱スル所ナルニ拘ラス未タ爲政者トシテ何等顧慮セラルル形跡ナキヲ遺憾トス然モ海港檢疫事務移管ノ如キ事比較的些事ニ亘ルト雖其ノ及ホス結果ハ却テ現在制度ヲシテ益々紛糾セシムルノ端ヲナシ輿論ノ趨勢ニ背馳シ徒ニ事務ノ未葉ニ走リ其ノ收穫ヲ輕視セラレツツアルヤノ觀ナキ能ハス、宜敷國家百年ノ長計トシテ衛生主管省ノ新設機運ヲ助成シ以テ保健、防疫、救療等ノ大綱ヲ統一シテ實行、運用ノ圓滑ヲ期スルニ非サレハ農村衛生改善ノ如キ傳來ノ慣習ヨリ來ル缺陷ノ根本改善ハ將來愈々困難ナル事偶々到達セサルナキヤヲ憂フ尙衛生改善ニ要スル投資ノ如キ苟モ國家ノ大本ニ關スル緊急事項ニ對シテハ他ノ行政事務ト同一ノ取扱ヲ受クルカ如キ不會ノコトナク須ク要路者間ノ理解ニ一段ノ考慮ヲ促スヲ必要ト思料セラ

(四七) 沖繩縣

農村保健状態ノ改善ニ關シテハ主務局ハ勿論其ノ他各方面ニ於テ既ニ研究論議セテ唯實行ノ之ニ伴ハサル憾アルノミト思料ス實行ノ容易ナラサルハ一財力ニ村民ノ自覺三特種ノ事情(風俗人情習慣)等ニ起因スルコト各府縣共其ノ情ヲ一ニスルモノアリト信ス特ニ本縣ハ經濟的ニ貧弱ナルノミナラス氣候人情風俗習慣等他府縣ト其ノ趣ヲ異ニスル點少ナカラサルヲ以テ自治體カ自覺シ努力スレハ目的ヲ達シ得ヘキ見込アルモノニ就テ愚見ヲ開陳セムトスルモノナリ

一、住宅ノ改善

本縣ハ暴風雨ノ襲來頻繁ナル爲住宅ノ構造ハ專ラ之ニ備ヘ農村住宅ハ概シテ軒低ク周圍ニ石垣又ハ樹木ヲ以テ圍繞シ換氣採光極メテ不良ニシテ保健上最モ重大ナル惡影響ヲ及ホスモノト信ス之カ改善ニ關シテハ住宅改善ノ宣傳團取設計書ヲ交付シ住宅改築資金ノ貸付等ニ依リ改善ニ着手セムトス

二、食物ノ改良

本縣民ハ一般ニ甘藷ヲ常食トシ外米ヲ以テ之ヲ補ヒ副食物ニハ豚素麵等ヲ用フルモ一般ノ農家ハ甚粗食ニシテ榮養不良ノ嫌アリ然レトモ食物ノ改善ハ永キ習慣ト財力ニ關スルコトナルヲ以テ一朝一夕ニ之ヲ轉換セシムルコトハ非常ナル難事ナリ然レトモ生活ノ向上ト泡盛等ノ亂用(飲酒風盛ナリ)ヲ戒メ食物ニ對スル知識ヲ啓發セシメ漸次改良ニ導ヒキ得ルモノト信スルモノナリ

三、飲料水ノ改善

本縣ハ飲料水ノ不良ナルコト他府縣ノ比ニアラス故ニ簡易水道、井戸ノ改良ニ對スル補助金ノ交付並井水ノ調査雨水ノ貯藏法等ヲ研究實施シテ幾分ノ目的ヲ達セムトス

四、寄生蟲ノ驅除

寄生蟲病ノ多數ナルコトハ各府縣共同一ナリト信ス本縣ニ於テハ飲料水、使用水ノ缺乏ト跣足、衛生思想ノ幼稚ハ確ニ之カ誘因トシテ有ガナルモノナリト信ス(但シ人糞ヲ其ノ儘肥料ニ使用スルコトハ他府縣ニ比シテ少數ナリ)之カ豫防撲滅ニ關シテハ目下縣ニ於テ一乃至ニケ村ヲ検査驅除シツツアルモ縣下全般ニ涉ルコトハ容易ノ業ニ非サルヲ以テ先ツ學校衛生方面ト連絡ヲ取り一面衛生組合ヲシテ積立金ヲサシメ個人ト町村ト縣ト三分ノ一宛ヲ負擔シテ學校醫又ハ村醫ヲシテ之ニ當ラシメ醫師不在ノ村ニハ縣ヨリ技術者ヲ派遣シテ比較的短時間ニ之カ驅蟲ノ實施ト宣傳ヲ實行セムトス

五、豚便所ノ改善

本縣ハ養豚甚ク熾ニシテ然モ養豚場ハ便所兼用ナリ故ニ蠅族ノ蝟集甚シク之カ改善ハ産業上ニモ重大ナル關係アリト雖モ速カニ改善ヲ斷行スヘキモノト認ム

六、醫療機關ノ普及

本縣ハ醫師數ノ人口數ニ對スル率ノ最モ低キ地方ニシテ那覇市ヲ除キテハ住民ノ醫療ニ關スル不便ト不安ハ名狀スヘカラサル程度ニアリ且ツ離島多クシテ交通不便ナルヲ以テ村醫ノ設置ヲ獎勵スルモ容易ニ人ヲ得ルコト難ク從ツテ法定ノ種痘ハ勿論、死亡診斷書サヘ得難キノ狀況ニアリ故ニ成ルヘク村費ヲ以テ醫師及産婆等ヲ養成セシメ縣ハ之ニ補助金ヲ交付シ醫師ノ普及ヲ獎勵セムトス其ノ他衛生組合ノ發達活動ヲ以テ農村保健状態改善ノ第一歩ナリト認メ將來其ノ組合ヲシテ權威アラシメ組長ハ知事ノ認可制トシ縣ハ優良ナル組合ヲ表彰スル等ノ方法ヲ講セムトス

農村保健状態改善ヲ諮問セラレタル當時ノ道府縣衛生課長氏名 (大正十四年五月)

道府縣名	氏名	答申シタル年月日	道府縣名	氏名	答申シタル年月日
一 北海道	石井 麟祥	大正十四年三月二十日	二五 青森縣	山内 美雄	大正十三年八月八日
二 青森縣	龜岡 慶治	大正十四年三月二十八日	二六 山形縣	武田 信一	大正十三年九月二日
三 岩手縣	加藤 雄吉	大正十三年九月八日	二七 秋田縣	木村 文吾	大正十三年三月五日
四 宮城縣	上村 行彰	大正十三年三月一日	二八 福井縣	綠川 門彌	大正十三年八月二十七日
五 石川縣	福田 常太郎	大正十四年四月九日	二九 石川縣	齋藤 正邦	大正十三年五月二十三日
六 福井縣	岡田 良一	大正十三年十月十六日	三〇 富山縣	白幡 兼	大正十三年三月二十日
七 滋賀縣	高橋 幸之助	大正十三年七月二十九日	三一 鳥取縣	井出 義潔	大正十四年三月二十日
八 長崎縣	高橋 幸之助	大正十三年七月二十九日	三二 島根縣	山田 義雄	大正十三年三月六日
九 新潟縣	戸所 龜作	大正十三年十二月二十六日	三三 岡山縣	根岸 顯藏	大正十三年三月二十八日
一〇 群馬縣	高木 乙熊	大正十三年八月十九日	三四 廣島縣	多田 英治	大正十三年八月三十日
一一 茨城縣	藤田 茂尙	大正十三年八月三十日	三五 山口縣	杉江 四郎	大正十四年三月十九日
一二 栃木縣	北條 光丸	大正十三年八月二十八日	三六 和歌山縣	上田 長藏	大正十四年三月三十一日
一三 群馬縣	齋藤 俊雄	大正十四年三月十六日	三七 德島縣	村島 鐵男	大正十三年九月四日
一四 奈良縣	河合 國次助	大正十三年八月三十一日	三八 香川縣	森岡 收	大正十三年五月六日
一五 三重縣	朝岡 龍太郎	大正十三年九月十八日	三九 愛媛縣	野本 正三郎	大正十三年九月九日
一六 愛知縣	山方 喜太郎	大正十三年九月二日	四〇 高知縣	赤松 秋太郎	大正十三年六月十八日
一七 靜岡縣	長谷川 貞一郎	大正十三年九月一日	四一 福岡縣	國澤 健雄	大正十三年八月二十九日
一八 山梨縣	田中 富平	大正十三年八月十三日	四二 大分縣	松本 榮	大正十三年七月二十一日
一九 滋賀縣	佐々木 誠四郎	大正十三年七月二十七日	四三 佐賀縣	渡邊 夏彦	大正十三年九月五日
二〇 岐阜縣	高木 義雄	大正十三年七月十六日	四四 熊本縣	川久 保定三	大正十三年七月二十六日
二一 長野縣	淺澤 丈助	大正十三年六月二十三日	四五 鹿兒島縣	山口 政男	大正十四年三月二十三日
二二 宮城縣	佐藤 可人	大正十三年七月二十五日	四六 鹿兒島縣	櫻井 守貴	大正十三年七月二十六日
二三 福島縣	東海林 豊治	大正十四年四月十八日	四七 沖繩縣		
二四 岩手縣	同				

備考 括弧内ハ答申シタル當時ノ衛生課長ヲ示ス
○印アルハ衛生課長ニアラサル主任衛生技術官ナリ

大正十四年三月二十八日印刷
大正十四年三月三十一日發行

內務省衛生局

印刷者 西 脇 嘉 市
東京市京橋區北橫町九番地

印刷所 一 成 社
東京市京橋區北橫町八番地

電話銀座五六八八番

70

